

2015 年度前期 授業評価アンケート結果に対するコメント

ー全学共通教育（キャリアセンター）ー

キャリアセンター長 相原 章

全学共通教育科目のキャリアセンター開講科目の 13 科目についてアンケートが実施され、延べ 565 名の学部生のみなさんからご協力を頂きました。この場を借りて、お礼申し上げます。また、今回もアンケートの実施にあたり貴重な授業時間中にご協力頂きました先生方にも厚くお礼申し上げます。

今回の授業評価アンケートは、実施対象科目数 13 科目（実施必須科目数 8、実施任意科目数 5）のすべてで実施されました。その集計結果についてコメントを行いたいと思います。

授業の満足度を示す「総合的にこの授業を評価できる」の回答平均値は、5 段階評価で 4.34 であり、大学全体の回答平均値 4.30 とほぼ同水準でした。この「総合的にこの授業を評価できる」とのあいだで強い正の相関がみられたのが、「この授業のレベルはあなたにとって適切であった」（相関係数：0.71）、「教員は発言・議論等授業参加を積極的に促した」（相関係数：0.70）、「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた」（相関係数：0.69）、「教員は授業時間を有効に利用した」（相関係数：0.68）でした。この結果は、キャリアセンターが開講している科目の多くで、受講者の状況にあわせて双方向的な授業が有意義に展開されていることをあらわしていると捉えることができるかもしれません。また、授業の総合的な満足度と「この分野の関心と学力が得られた」という受講者による自己評価との関連についても、高い相関がみられます（相関係数：0.60）。

一方で、「予習または復習をよくした」の回答平均値は、大学全体の回答平均値（3.18）や他の項目のすべてが 4 点台であったことと比べて低い値を示しています（平均回答値：2.96）。また、それが授業の総合的な満足度とのあいだに相応の相関がみられることから（相関係数：0.42）、何らかの改善が必要であると考えられます。

今回のアンケート結果でみられた「良い」ところについては、できるかぎり伸ばし、「気になる」ところについては、改善を進め、授業の質的向上に努めていきたいと思えます。